子どもの背がひくい、伸びない。

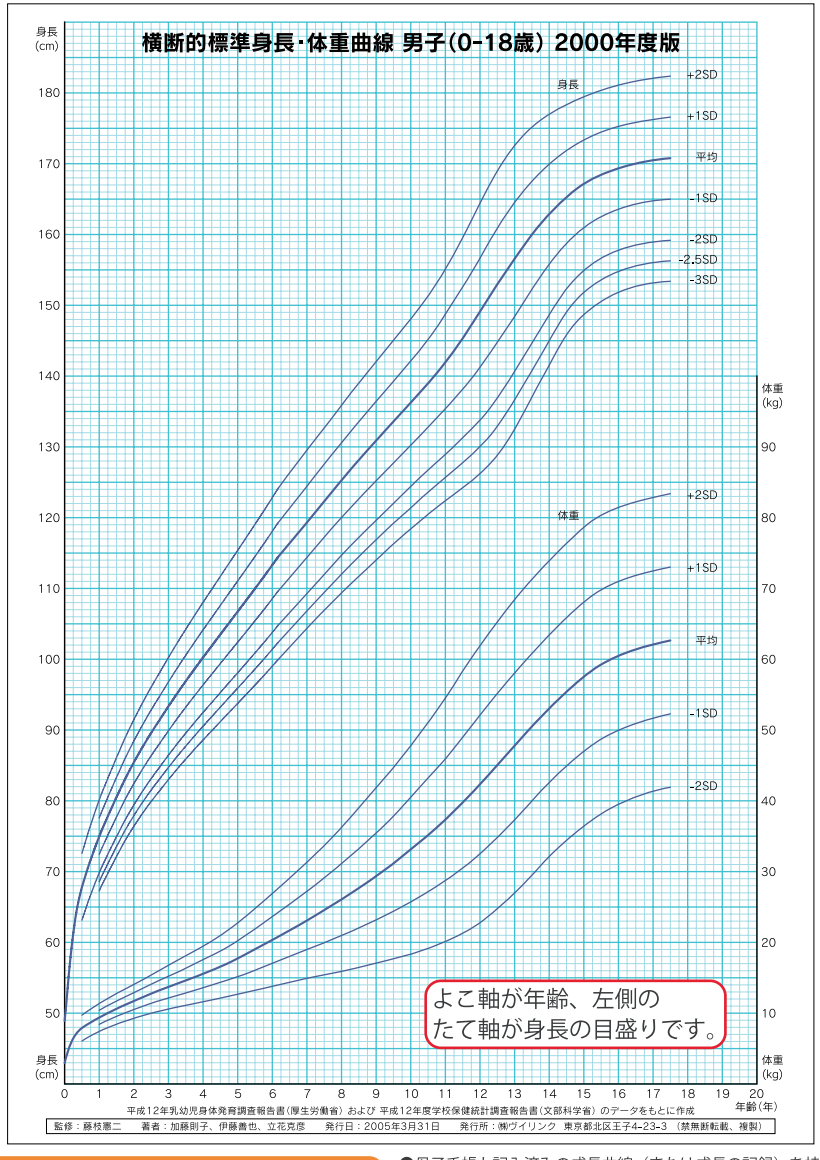
気になったら、どうしたらいいの？

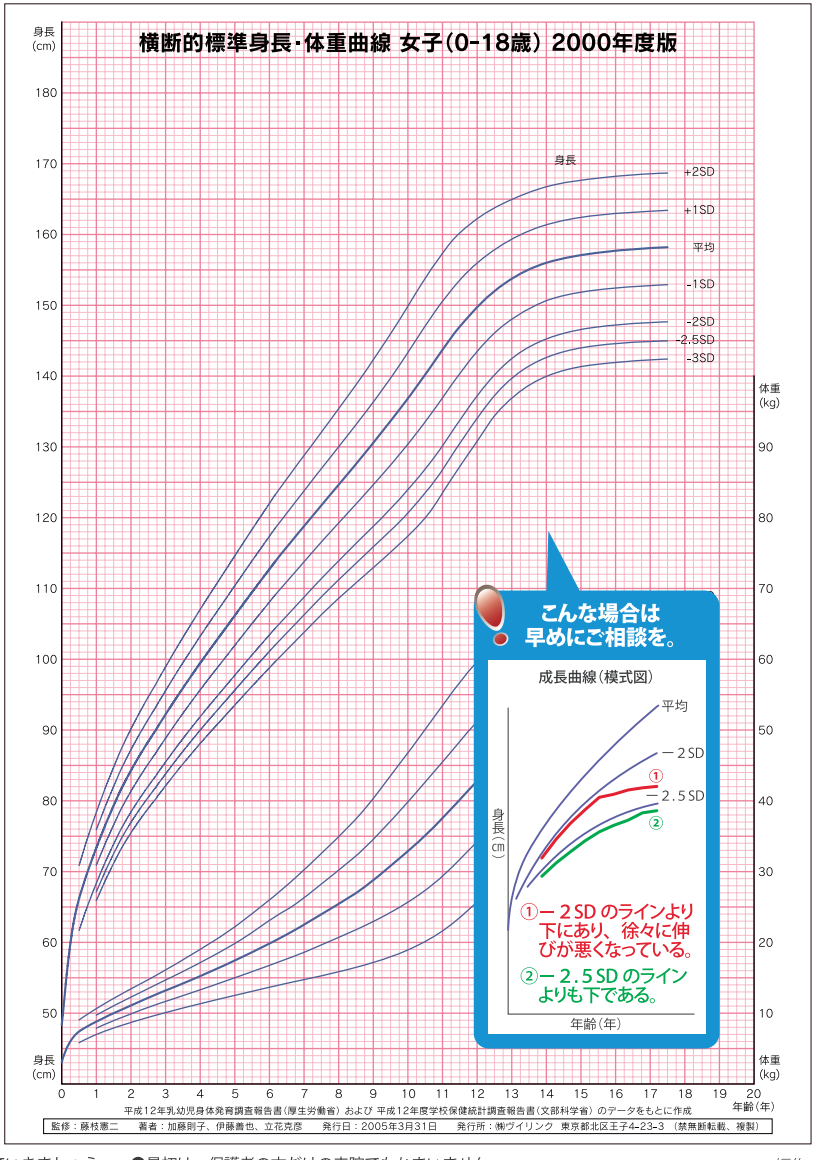
やまて小児科 アレルギー科（光市浅江）
院長 **山手 智夫** 先生
昭和 63 年岡山大学医学部卒業　医学博士 小児科専門医
http://www2.ocn.ne.jp/~toyamate/

子どもの低身長の背景に、時として病気が隠れていることもあります。すこやかな子どもの成長を見守るためのヒントを、やまて小児科　山手智夫先生に伺いました。

背がひくい、伸びないといっても、平均値と比較して客観的に評価することが大切です。下のグラフを使って、お子さんの正確な年齢と身長の交差する点をつないで、成長曲線を描いてみましょう。平均からどれだけ差があるのかがひと目でわかります。注意したいのは、身長が－2SD のラインより下にあって、徐々に伸びが悪くなっている場合（図①）、－2.5SD のラインより下にある場合（図②）です。

定期的に身長を測定してグラフにすると、子どもの成長がよくわかります。保育園や学校、そして保護者と医師が協力し合いながら、子どもの心身ともに健全な発育の手助けができればいいですね。





受診するときのポイントと診察の進み方

●母子手帳と記入済みの成長曲線（または成長の記録）を持っていきましょう。　●最初は、保護者の方だけの来院でもかまいません。
●診察では、医師が成長を詳しく分析し、問診で食事や生活習慣、過去の病気など、詳しくお伺いします。　●必要があれば、詳しい検査に進みます。

編集・制作
ターギス株式会社